

# 全難聴女性部だより 第35号

平成28年1月27日発行 発行人：永末淑子 編集：事務局



## 新年のご挨拶

副部長 伊藤 雅子

謹んで新年のお喜びを申し上げます。ご家族の皆様とお健やかに新春をお迎えになられたことと存じます。今年は例年になく暖かいお正月でした。日頃は、全難聴女性部にご協力とご支援を賜り心から感謝申し上げます。香川うどん県大会では、皆様からバザー献品のご協力をいただき、今までにない収益金となり、皆様の真心に厚くお礼申し上げます。

さて、今年の4月から「障害者差別解消法」がスタートします。この法律は、障害のある人への差別をなくすことで障害のある人もない人も共に生きる社会をつくることを目指しています。「不当な差別的取り扱い」と「合理的配慮をしないこと」が差別になります。不当な差別取り扱いとは、例えば障害があると言うことでスポーツクラブに入会させてもらえない。アパートを貸してもらえない等は、障害のない人と違う取り扱いを受けることになり役所、会社、お店等はしていけないことになっています。

合理的配慮をしないこととは、聴覚障害者に声だけで話すこと。障害のない人にはきちんと情報を伝えているのに障害のある人には、情報を伝えないことなどです。聴覚障害者は、手話通訳者がいなくて困っている時、その人の障害に合った必要なやり方を相手に伝える。つまり、手話通訳者をつけることを役所、会社、お店等はしなければいけないのです。川崎市では、障害者差別解消法の目的について、全ての人が、人格を尊重し合いながら安心して幸せに暮らすことが出来る社会の実現となっています。しかし、何処まで差別解消に努力してもらえるか疑問ですが、声を出して訴えていく必要があると思います。

昨秋、全要研神奈川支部では「UDトークを使った情報保障の方法について」研修会がありました。音声認識しながら即文字変換していきませんが、話し方によっては表示までに時間がかかり、また、誤変換にもなります。全難聴でも音声認識に取り組んでいますが、音声認識は1つの機能でそれをどのようなように使用するかはアプリ次第だそうです。スマートフォンやタブレットでは、指だけで書けるので、UDトークは既に自治や大学、公共交通機関、企業などの団体や個人でも導入されているそうです。聴覚障害者の発言は認識が難しい場合があり、話した内容が正しく文字にならないので、話し方のコツに慣れることが大事と思いました。UDトークが普及しても要約筆記に代わるわけではありませんが、コミュニケーション等に使うのは便利のようです。本年もお互いに支え合って素晴らしい一年にしたいと思います。

～新しい年を迎え役員・県部長に抱負を伺いました～

## 〈役員抱負〉



### ◇部長：永末淑子◇

新年明けましておめでとうございます。本年も女性部へのご協力とご支援をよろしくお願い申し上げます。

本年4月には、障害者差別解消法が施行されます。社会の仕組みのなかにある原因の、合理的配慮を女性の立場で求めていきたいと思えます。

さて、今年は輝く年女。猿年に赤の衣類を身に着けて運氣アップ、開運につながることを祈って、新たな人生を皆様と一緒に、元気良く日々向上する事を願っています。

### ◇副部長：伊藤雅子◇

新年おめでとうございます。今年も皆様にとりまして幸多い年であるように心からお祈り申し上げます。

さて、各県の女性部活動が思うように進められない協会が出ている状況で今後の活動が心配です。「継続は力なり」をモットーに頑張れるよう微力ながらサポートしてあげたいと考えています。皆様の声を大切にしながら新たな気持ちで活動に協力したいと思います。今年も、健康に気をつけて女性部を盛り上げていきたいので宜しくお願い申し上げます。

### ◇副部長：藤岡央子◇

明けましておめでとうございます。

昨年7月札幌の県部長会議で、副部長をと指名され、こんなたいそうな役をはたして私に務められるのか？と思案してからもう半年がたとうとしています。

郷に入っては郷に従え、で何とかやってきました。今年には地元奈良県で全難聴福祉大会 in 奈良が開催されます。のんびり屋の私もやる気を出さねば…まずは女性部分科会の企画をまとめなければなりません。皆様の叱咤激励をうけて頑張りますので、宜しくご指導をお願いします。

### ◇事務局長：加藤千津子◇

新年おめでとうございます。早いもので、事務局となり、半年になろうとしています。至らぬところも多々あり、皆さまにはご迷惑をお掛けしたことと思えます。

どうにか1年の流れがわかってきたところです。役員も若い人が増え新しい女性部を見ていただけるよう一致団結して頑張ります！今年も宜しく申し上げます。

### ◇事務次長：蔦尾東紫◇

明けましておめでとうございます。今年もよろしく申し上げます。事務次長になって3年目を迎えました。まだまだ未熟ですが、先輩たちのお力を借りながらより良い女性部を築き上げて行きたいと思っています。

### ◇事務次長：庄司美絵◇

明けましておめでとうございます。今年もよろしく願います。

ひよこの役員になって2年目に入ろうとしています。分からない所がたくさんあって、行き詰ることも…。皆さんの足を引っ張らないように、もっとコミュニケーションを取る必要があると思っています。子育てのお母さんや仕事をお持ちの女性の声を集めて、

何か出来たらとお手伝いしたいと考えています。

#### ◇会計：磯島都子◇

昨年は札幌での総会が新たな体制スタート。まだ余韻が残り北の印象が強烈的なのは何故か・・・？札幌の街並みと女性会長さんの包むような優しい人柄のせい→(^\_-)-☆。改めて女性の力を感しました。

丙申の本年は「これまでの頑張りが形になっていく年」とか・・・。この1年、しっかり活動し、自分自身の良い形が表れるよう律することを心掛けます。

また、今年も役員の方々と共に頭を捻りながらバザー収益に頑張りますのでよろしくをお願いします。

#### ◇広報部長：飯島サダ◇

あけましておめでとうございます。

女性部の会員の皆様方には、全難聴機関誌「難聴者の明日」女性部のページに、ご寄稿頂き、女性部の活動にご協力をご感謝申し上げます。広報の女性部活動情報は機関誌の他に、全難聴HPをご覧になって頂くとわかります。是非ともご覧ください。

本年も広報副部長と共に頑張ります。宜しく願い申し上げます。

#### ◇広報次長：明田美奈子◇

初めて女性部にに関わり、いきなり広報次長になりました。

名ばかりでおりますが、部長の飯島さんを頼りにしながら務めて参る所存です。

今年もよろしくお願いいたします。

#### ◇監査：塚本茂子◇

新しい年を迎えました。皆さま、本年もよろしくお願いいたします。

年末年始は予期せぬことで慌ただしく過ごしましたが、当たり前  
生活出来ることのありがたさを痛感した慌ただしさでもありました。 私達の活動は、  
家族の理解と支えがあつての活動です。家庭を大事にしつつ、聴覚障害者の生活向上の  
活動に、携わる方々の繋がりも大切にしなければと思っています。

この年も会計に協力し全難聴女性部の予算が有効に遣われるよう務めさせていただ  
く思いでおります。

#### ◇監査：高田郁代◇

全難聴女性部役員(監査役)として…私的な事情から、全国福祉大会には参加はおろか、  
何のお手伝いもできず心苦しいかぎりでした。

今年の開催地は同じブロックの奈良。ショートステイを開催日と合わせるなど時間を  
作って参加を目指します。

#### ◇相談役：須山優江◇

全国の女性部の皆様、良いお年をお迎えになられたことと、お喜びを申し上げます。  
今年度も相談役として、蔭ながら女性部を支えていけるように、しっかりとやっていき  
たいと思っております。どうぞ宜しくお願い致します。



## 〈県部長の抱負〉

### ☆札幌市：橋本順子☆

皆様、新年あけましておめでとうございます。今年の抱負とのこと、年々高齢化して部員減となり活動が厳しい状況です。行事もマンネリ感があり、これからどのように女性部を活性化して行ったらよいのか、部員と話し合いの場を設けて、一歩前進できる活動をしたいと思っています。全難女性部のバックアップと、地元女性部の協力を得ながら、女性部だけではなく、実年部の方々にも参加していただく行事も考慮したいと、日々努力し良き1年となるよう願っております。

### ☆東京都；明田美奈子☆

東京の協会員は700人近くいますが、女性部員は僅かしかいません。今までのカラーをリニューアルして、若い女性が興味を持ってそうな女性部にするため、少しずつ若返り化を目指して頑張っています。4月に30代の部員が入る予定です。

10月1日には関東ブロック女性部の研修を企画しています。

### ☆茨城県：高橋喜美子☆

1昨年、女性部長を引き受けて、すぐに27年度関東ブロック女性部研修会が、決まったので、例会は話し合いばかりとなりました。

新年からは、以前の例会のように男性も加わってもらい、楽しい会になったと思っています。ただ、参加者はいつも同じ顔ぶればかりで、新しい参加者が来ないのが悩みです。一人でも、新しい方が参加し続けてくれるような、魅力ある会になるよう、努力していきます。

### ☆群馬県：渡辺澄江☆

群馬の新年は、恒例の全日本実業団ニューイヤー駅伝で始まりしました。風に向かって走る選手の力走は、見るものにも勇気を与えてくれます。

さて、本年4月より「障害者差別解消法」が施行されます。私達難聴女性にとって適切な対応がなされているかどうかを検証したり「合理的配慮」を求めて行くことが大切だと思います。皆で力を合わせて行動致しましょう。

### ☆川崎市：伊藤雅子☆

初春のお慶びを申し上げます。当協会は、会員の高齢化が深刻になり、行事参加者の減少を心配しています。いつでも、どこでも会員の笑顔にお会いしたいので、参加意欲を高められる内容で、企画を考えたいと思います。

今年も、健康第一でお喋りを楽しみ「福」を招いて素晴らしい一年にしたいと思っています。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

### ☆横浜市：飯島サダ☆

当協会女性部員は現在40名います。新しい方が、ここ何年か入りません。年齢層は、50代から90代、40名の中で平均25名から30名が活動できる状況です。高齢化し

て行く中でも部員皆さんの協力が大きな原動力となっています。これからも何とか女性部が継続していける事を願っています。

#### ☆長野県：浜富美子☆

自然災害が多かった羊年が明けて、人気者の申年がやってきました。今年は災害の少ない年でありますよう願っています。長野県の協会は会員も少なく、まとまりにくい地形ではありますが、県を二分した集まりやすい会を継続していきたいと思います。また、地域の会を継続して行かれるように他地域への呼びかけもし、みんなでたのしい時間を過ごせるようにしていきたいと思います。

#### ☆新潟県：大西邦子☆

4、5年前より女性部は県内各支部との合同で活動をしています。会員は圧倒的に女性が多い上、何しろ南北に長い地形上、多くの会員と交流するには各支部輪番で活動することが望ましいと考えるからです。会員の高齢化に伴い、まずは健康第一で毎月顔を合わせられるよう楽しい交流を目指したいと思っています。毎年開催される関東ブロック研修会へもみんなで誘い合って参加したいと楽しみにしています。歳はとっても今年もがんばるぞ～。

#### ☆岐阜県：加藤千津子☆

新年おめでとうございます。今年は、障害者差別解消法が4月より施行されます。これをチャンスとして働きかけ、一人でも多くの方が行事に参加していただけるような企画を、役員で計画します。今年も宜しく願います。

#### ☆滋賀県：服部邦子☆

新年おめでとうございます。本年も宜しく願います。

今年は申年ですので、「言わザル聞かザル見ザル」の通りに人間関係も良くなると思います。女性部での人間関係は、まとまっているように思います。役員も会員も中高年同志でいろんな面で協力しあっています。

昨年の後半に大変な病気にかかり、改めて健康第一に考えるようになりました。微力ながら細々と活動出来たらと願っています。

#### ☆和歌山県：蔦尾東紫☆

明けましておめでとうございます。今年もよろしく願います。

県女性部長になって3年目。和歌山も高齢化しつつありますが…毎月の例会日にはこの日のためにだけ頑張ってきて頂いている会員さんもいます。

毎月何をしようか？と思案の日々です。今年は近畿ブロックと全国県部長会議などが和歌山で開催されます。昨年の国体・障スポ大会に続いて、今年も皆さまへのおもてなしを努めたいと思います。海の幸、山の幸、空気が美味しい和歌山へおいなあよ～♪（おいでよ～♪）是非お待ちしております。

#### ☆奈良県：藤岡央子☆

明けましておめでとうございます。



奈良県は若い世代の女性が少ないので、女性部の例会など月1回でもなかなか難しい状態です。今年は若い世代の勧誘にもっと力を入れていきたい！子育て中の30～40代や、子育てがやっと一段落した50代の女性が入って魅力を感じる、そんな女性部の活動を目指したいと思います。理想ですが、理想はあくまでも高く持ち続けていきたいと思います。

#### ☆大阪府：橋川えみり☆

あけましておめでとうございます。今年の抱負は、会員に迷惑をかけないように、確実に、毎月の予定内容に沿った例会を開催できるよう準備すること。これは部長として当たり前のことなのですが、昨年に初めて就任して、毎月の例会の準備、予定を無事こなすこと、会員に笑って喜んでもらうことがどんなに大変ことかを痛感しました。毎月の例会が女性部会員の憩いの場になるよう、今年はずっとがんばるしかありません。

#### ☆大阪市：高田郁代☆

大阪市の女性部長として…高齢化が著しく（私も70です）、活動に困難を感じることで増えてきました。若返りは一朝一夕には無理とはいえ、女性部としての活動が途切れないよう努力していくつもりです。

#### ☆京都府：片山ひろみ☆

昨秋の近畿ブロック委員会から十数年ぶりに復活という形で、京都府より委員として仲間入りさせて頂きました。皆様に温かく迎えてもらえたことを感謝し、今後の取り組みの中でこの気持ちを表現して行きたく考えています。

折しも、今年は今全難福祉大会が奈良県で開催されます。近畿ブロックとしての力量を発揮する絶好の機会と言えるでしょう。地元の奈良県を中心に、精一杯の協力ができるよう頑張りたいワクワクしていますので、どうかよろしくご指導をお願い致します。

#### ☆兵庫県：庄司美絵☆

新年おめでとうございます。今年で、8年目に入ろうとしていますが、なかなか進歩しません。高齢者、仕事優先、子育て中の会員達とばらつきがあり、兵庫県では神戸市を除いて広域にあり、交通手段も大変です。青年部時代を振り返り、3つのブロックの持ち回りで、何かやってみようと思案中。この様な経験のある方、アドバイスがあれば、お教え下さい。最年少の部長ですが、よろしく願いいたします。

#### ☆島根県：福田美和子☆

新年明けましておめでとうございます。今年もよろしく願いします。昨年は、スポーツ交流会、茶話会など参加して頂いて、色々な人と出会って楽しめることが出来たと思います。本年も継続して、負担かけないように活動したいと思います。ご協力の程よろしく願いします。

私の抱負は、昨年は、体力づくりが出来なかったもので、本年こそ、健康で気をつけて頑張りたいと思います

#### ☆福岡市：永末淑子☆

新年あけましておめでとうございます。本年も初心を忘れず、あらたな希望を持って

活動にまい進したいと思います。全難聴九州ブロック女性部は、福岡中失難聴者支援福祉協会のみで、他の県は窓口になっています。各県の難聴者協会長にお会いする機会があるときは、「女性部を作ってください。」といつもお願いしています。今年こそは、一部でも増えるように祈って頑張ります！

## 第21回 全国中途失聴者・難聴者福祉大会 in うどん県 (第2分科会報告)

演劇公演「幸子」から考える中途失聴・難聴者の自立について

～生き方を輝かせて、人としての生き方を貫く～

第2分科会は2部構成で参加者が76名でした。

### 第1部 「幸子」演劇鑑賞

幸子という難聴女性が職場でも難聴ゆえ同僚にも気をつかい消極的だったが、全国大会に参加し、パネラーから「自立への道筋は先ず障害を受容して、支援を受ける体制を整え、自分自身の存在を確立させ健常者との共存する社会を目指して行動すること」とアドバイスを受け、自立心に芽生え成長していく過程の演劇。

### 第2部 座長：新谷友良様 (全難聴理事長) 司会：大西美子様

パネラー大西鉄男様 (「幸子」の脚本家、徳島県難聴者と支援者の会ナシの会 会長)

横田美香様 (香川県中途失聴・難聴者協会 会員)

永末淑子様 (全難聴女性部 部長)

課題①「幸子」の感想に自身の体験を加え「難聴女性の自立」について

②家族の理解や協力について

③自立について

永末さんは、小学時に担任から受けた痛みを胸にしまいこみ、難聴女性として成長する過程で、強い意思と信念をもって難聴に立ち向かう決意に繋がっている。島根の出雲市在住時に、「難聴・中途失聴者サークル・ベーターベン」を立ち上げ、出雲市制60周年記念事業に障害者の意見発表会「私の声を聞いてください」を他の障害者らと開催した。声を出し、理解してもらうことで障害者、高齢者、子供、女性、を包括するインクルーシブ概念を実行した。難聴活動の中で、福祉関係、健聴者などは、ろう者のことは分かっているが難聴者に対する理解がなかった。分かってもらうために、自分から周囲に理解してもらう努力をすることも学んだ。家族については、ご主人が健聴者。一所懸命活動していることに理解があり、励ましてもらっている。社会に出て難聴者であることを公表し、自分の障害を受容し、他の障害者と手を取り合い活動したことが自立に繋がり、自信にもなったと話された。大西さんは、ナシの会会長。難聴者の支援者として耳マークの啓発、設置活動、行政への陳情活動など、難聴者の日常生活に起こる不自由なことへの解消に向け活動している。



劇「幸子」の脚本家でもあり、コミュニケーション不足は誤解や偏見の温床であり、人権さえ侵せれる問題もおこしかねない。また、難聴者の問題を当事者だけで考えると片側からだけしか意見は集まらない。難聴者と健聴者の言い分を聞く必要があり、お互いが共生する社会により解決の糸口が見つかるのでは？自身が健聴者で奥さんが難聴者。自分がめげそうになったら、「難聴の活動をしているのは、これから生まれてくる難聴の子供達の環境を整備していくもの」と奥さんの言葉で叱咤される。言いたいことが言える社会、難聴者も健聴者も同じ。聞こえないことはどうにもならないが、それを補ってくれる支援者と一緒に行動することで、自分の持つ能力を100%出せる、それが本来の自立。と話された。

横田さんは、小、中学校は難聴学級に通い先生の配慮もあったが、高校では無く、愕然とした。高校では自分から働きかけ解決する必要がある、大変な3年間だった。

香川県から請われて、福祉専門学校と看護科のある高校へ難聴者に対する配慮など説明に行った。看護師や介護士になるための学校は多くあり、難聴のことを学ぶ機会が増えれば、難聴に対する理解が深まるだろう。自立は自分一人では出来ない、周りの理解が必要。と話された。

これらを総括して、新谷理事長は、愛知県で行っている難聴者の福祉講座を例に挙げ、小、中学生での教育があれば社会の理解に繋がる。

終わりの挨拶では、難聴者は自身の障害を受容できない人が多い。自分の障害を伝えてコミュニケーション方法はこうしてほしいと伝えることが大切。難聴者に対する理解を広め、支援者を増やしていくことで、聴こえなくても能力を発揮できる社会を作っていくことが必要である。要約筆記を上手に利用すること、また耳マークの普及など啓発活動を進める必要がある。と結ばれた。

**※参加者にアンケートをお願いしました。アンケートの集計は別紙参照してください。**

## 参加者の感想

京都府難聴者協会 片山ひろみ

私は近畿女性部として「幸子」を応援したくての参加でした。私自身が関心を寄せているテーマなので尚更に！「中途失聴・難聴者の自立」をテーマに、演劇を通して職場での難聴者がぶつかる困難を具体化して示すことにより、観劇者が自ずと解決策を考えさせられる流れとなっていました。

難聴者は世間に出たら、コミの面では厳しい現実と直面しなければなりません。ましてや職場となれば健聴者でも大変なのに、聴こえ難い障害を抱えていたらその苦労たるや並々ならぬものがあります。私の親友は、中途難聴者になったことが原因で職場に辛くなり、早期退職を余儀なくされた経験を語ってくれたことがありました。難聴になった時点で課長という皆をまとめる立場にあったため、度々皆に助けてもらわなければならず気落ちへと。又特定の親切な部下にばかり迷惑をかけてしまうことになり、これも追い撃ちをかけたそうです。今回の「幸子」の職場での状況がこの話と重なって、



まるで再現を見ているようでもあり、吸い込まれんばかりに見入ってしまう自分がいました。

私は難聴になってから既に20年が経過した今でも、朝から晩まで全神経を耳に集中させる癖がついてしまいました。コミが不自由になってしまった衝撃は、何より人間関係に支障をきたしたことにありました。なので、自分を取り巻く身近なまわりの人達に、どう協力してほしいのかをハッキリと伝えないと、状況は悪化の一途を辿ることになるだろうと。「勇氣」という二文字に押されました！

職場では正確な仕事ぶりが求められるだけに、誤った聴きとりは仕事に大きく支障をきたします。理解を得るまでの苦労をいとわず根気よく分かってもらうように努めることが、働きやすい職場の雰囲気づくりへと繋がる筈。

この人についてほしいと必要とされ、他の人にはない独自の特技を身に付けることが大事というアドバイスは、特に輝く印象となって残っています。

一目置いた目で見てもらえることは、障害者という弱い立場から一転して強い存在感を放ちます。

結局、障害を少しでも軽減したければ、他人に助けを求めるのと同様に、自分自身を向上させ磨く努力も怠ってはいけないということに至ります。

パネルディスカッションからは、強い意志と信念をもって生きていく心構えが根底にあれば、くじけることなく明るい未来に向けて切り開いていく力が湧き起ることを教わったと実感しています。意義深いひとときを有難うございました。



## バザー販売の感想

全難女性部事務次長 庄司美絵

平成27年11月21日(土)～23日(月・祝) 香川県高松市のサンポートホール高松で「第21回全国中途失聴者・難聴者福祉大会」が開催されました。15年ぶりに参加しました。女性部役員なので、前日に集合し、恒例女性部バザーの準備から始めました。各地域からの荷物を箱から出して、順番に商品リストを書いたり、値付けを決めたりしました。ベテランの方は、慣れているのでテキパキとやっておられました。商品リスト担当でしたが、なかなか思う通りに進まず迷惑をおかけしました、猫の洗濯バサミやホワイトボードなど出品があり、それぞれの個性があって面白かったです。ベテラン役員と混じって2日間も声掛けしたので、売上金額が予想より最高金額となりました。めでたし～！！

## 「バザー販売 会計報告」

★バザー品売上高 116,650 円

★バザー協力金 9,000 円(東京都、大阪市、和歌山県)

合計 125,650 円①

★寄付金 個人(4人) 13,000 円② 総合計①+②=138,650 円

バザー品提供団体：札幌市・群馬県・茨城県・新潟県・長野県・横浜市・川崎市・名古屋市・岐阜県・滋賀県・奈良県・和歌山県・大阪府・兵庫県・島根県・香川県・山口県・福岡市・熊本県

個人：名倉順子様（東京都）・松島みどり様（埼玉県）・目代陽子様（長崎県）

## 各ブロックの「集い」度開催報告（平成 27 年 8 月以降）

### ★関東ブロック（日帰り）

- ・日時：平成 27 年 10 月 18 日(日) 芸術の森公園内 笠間工芸の丘クラフトヒルズ KASAMA
- ・主管：NPO 茨城県中途失聴・難聴者協会女性部
- ・テーマ「眺める陶芸から楽しむ陶芸へ」～心癒されるひと時を～

### 参加者の感想

長野県中途失聴・難聴者協会

浜富美子



品川から特急で 1 時間半ほどの笠間市にある広大な公園「笠間芸術の森公園」内にあるクラフトホールで陶芸の体験をするグループと公園内を散策するグループに分かれての研修でした。

私は散策に「陶の杜」へ。自然の地形を利用した檜の林の中に陶芸作家の作品が置かれていて不思議な雰囲気でした。薄暗い林の中にゆらゆらと木漏れ日に反射して揺れるひかり。小鳥が電線に止まっている様に並んだすずめ。千羽鶴、小川のかえる、壁ベンチ、番犬、襲モニュメントなど歩きながら楽しむことが出来ました。林を抜けると芝生の丘になり家族連れなどがあちこちで楽しんでいました。

広大な公園内にはイベント広場・コンサート広場・サイクリングロード・美術館・水辺の広場やロング滑り台などがある遊びの広場が見られました。長野県の公園には木を使った道や階段が多くなりましたがここは陶ばかりでした。紅葉にはまだ早かったのですが萩の花が咲いていたりドングリがおちていたり秋の林は癒やされました。今回の集いは長野、埼玉、横浜、川崎、東京、千葉、茨城からの参加者で日帰りでしたが、大勢が参加し「去年の諏訪は良かったよ」と声を掛けていただけ遠いけれど来て良かったなあと思いました。特急電車に自由席はなく全てが指定席。これには戸惑いました。帰りが予定より早くなったので「みどりの窓口」での手続きが必要になり、旅慣れない者は面倒でした。今回も専門部のみに任せず、協会一団となって準備して下さったよううれしく思いました。

出かけてみると懐かしい人、再会を喜ぶ人、初めて会話する人など出てみると楽しいですね。再会を約束して名残惜しみつつのお別れでした。それにしても、諏訪は交通の不便なところだとつくづく思います。でも、楽しかった。

### ★東海ブロック（日帰り）

- ・日時：平成 27 年 11 月 15 日（日）三重県桑名市在良公民館
- ・主管：三重県中途失聴・難聴者協会 窓口
- ・午前：講演「難聴者とストレス」藤田保先生（琵琶湖病院）
- ・午後：南京玉すだれ実演と皿回し体験 八房玻璃香先生



### 参加者の感想

NPO 法人名古屋難聴者・中途失聴者支援協会 伊藤恵子

昨年 11 月 15 日（日）に開催された全難聴・東海ブロック「女性の集い in 三重」参加の思い出です。名古屋から電車を乗り継ぎ、三岐鉄道「蓮花寺」という綺麗な名前の駅で下車すると、駅舎のすぐ左手に会場の在良（ありよし）公民館がありました。駅から徒歩 1 分。 三重難聴の女性会員をはじめ、数名の男性会員や要約筆記の方たちの温かい歓迎を受け、他県から参加の懐かしい顔ぶれとあいさつを交わすうちに、午前の部の、琵琶湖病院・藤田保先生による「ストレスとうまく付き合う 心の病にならないために」という講演が始まりました。

藤田先生は医師免許を取得されたのちの 29 歳の時に、聴覚神経の腫瘍切除の手術を受け、その後失聴されたそうです。多くの困難を克服しながら琵琶湖病院精神科・聴覚障害者外来を担当して来られました。その中でのご自身の体験も含め、聴覚障害者が直面する受診の悩みや、コミュニケーション、人間関係等から発生する様々なストレスに対してどう向き合うかという問題について、解りやすくお話をしていただきました。お話の内容の全てが「なるほど」と納得のいくことばかりでしたが、特に私の心に残った対処法は、「ストレスを溜めないようにするには、問題から逃げることも、解決を先に延ばしてもいい」と教えて頂いたことです。

今まで、自分が聴覚障害者ゆえに困難なことに直面したらまず、「逃げないで乗り越えなければいけない、立ち向かわなければいけない」と自分を追い込んでいくことが大切だと思っていました。けれども藤田先生のお話で、「逃げて構わないのだ、問題を先送りにしていいんだ」と考えることは、とても心が楽になるということを知りました。同じ障害を背負った藤田先生のお言葉だからこそ、本当に素直に心に染み入りました。他にも多くのことを学んだ講演でした。また機会があれば、藤田先生のお話を是非お聞きしたいと思います。

昼食は会場の近くの中華料理店で、歓談しながらおいしいランチに舌鼓を打ちました。午後の部は「八房 玻璃香（ヤツサ ハカ）先生による南京玉すだれと皿回し体験」。玻璃香先生と助手のお二人で、華麗な軸さばきによる皿回しを堪能した後、参加者が二人一組で皿回しにチャレンジします。見ている分には簡単に回せそうですが、実際にチャレ

ンジしてみるととても難しい……。先生から「80%の出来、ほら 90%」と声をかけていただくのですが、その先の 100%が来てくれない……。何度もチャレンジしていると、「あっ、できた！」という声が一人、二人と増えていきます。私も焦って悪戦苦闘を繰り返していると、ある瞬間に奇跡が起きて軸がスッと皿の中心に納まり、きれいに回転しました。皿回し大成功です！「う～ん、いい気分！」ホントに楽しかったです。

そして最後に、玻璃香先生と助手の方による「南京玉すだれの三重バージョン」の演技をじっくりと鑑賞させていただいて、この体験が終了しました。参加者の皆さんも笑顔でいっぱい楽しさを満喫されたようでした。

今回の全難聴・女性部の集いに際し、三重難聴・女性部の皆様、三重県の要約筆記の皆様、準備も大変だったことと思います。お蔭さまで私たち参加者は心から楽しい時間を過ごさせていただきました。本当にありがとうございました。

#### -----28 年度ブロック「集い」開催予定-----

##### 関東ブロック

主管：NPO 法人東京都中途失聴・難聴者協会 女性部

日時：平成 28 年 10 月 1 日（土）

##### 東海ブロック

日時：未定

主管：NPO 法人愛知県難聴・中途失聴者協会



##### 事務局だより

＊第 21 回全国福祉大会では、第 2 分科会に多数のご参加ありがとうございました。

また、バザー販売では多くの地域と個人様からバザー品の提供をいただきました。多くの方が購入され、過去最高の売上となりました。この売り上げは、活動費として有意義に活用します。皆様のご協力に役員一同お礼申し上げます。ありがとうございました。

＊各ブロック長、県部長が交代するところは、速やかに事務局までお知らせください。

＊28 年度役員会・県部長会・総会

日時：平成 28 年 7 月 1 日（金）13 時～17 時・7 月 2 日（土）9 時～17 時

場所：和歌山県ふれ愛センター 両日共 2 階会議室

詳細は後日、各県部長にお知らせします。ご出席よろしくお祈りします。

**皆様からの情報、投稿をお寄せください。  
また、ご意見、ご要望などありましたら事務局までお知らせください。**

**事務局：加藤千津子（岐阜県）**

**F A X : 0 5 8 - 2 4 2 - 2 8 2 9**

**E メール：chizuko@pcdocwin.jp**

**おばちゃんの豆知識（みかんの皮を浴剤に）**

カラカラになるまで天日干しする。皮二つかみ分くらいを布袋（輪ゴムで止める）に入れ湯船に浮かべる。血行がよくなり、冷え症や神経痛などに効くよ。

試してね！



**皆様の益々のご健勝とご多幸をお祈りします。本年もよろしくお祈りします。**